

広報国際室

世界に誇れる函館圏創造委員会

委員長／山内 裕之 副委員長／平賀 一匡 委員会幹事／嶋村 崇

委員／ガーツンフレッドエリー 亀田 清彦 小林 靖広 澤田 光成 高野 拓哉

福島 和弘 山下 拓郎

1 2017年度世界に誇れる函館圏創造委員会は、情報技術の発展により世界との距離が
2 近くなっている時代において、今よりさらに世界を取り込むことで地域が発展していくと
3 の思いから、我々地域住民一人ひとりが世界に通用する函館圏の魅力を認識し、国際化に
4 対する意識を共有したうえで魅力を強みにした戦略を描き、さらなる国際化へと向かう機
5 運を高めるために一年間活動して参りました。

6 3月例会では、メンバーが函館圏の魅力や可能性を認識し、国際的な視野を持つ意識を
7 醸成することを目的に開催しました。委員会プレゼンテーションでは委員会メンバー5名
8 による掛け合いのスタイルを取り入れ、他の地域の国際的な取り組みを参考にしながら函
9 館圏の魅力を認識してもらうとともに、どんなに良い素材や魅力を持っていても知られて
10 いなければ選択される土俵にすら上がらないということを伝えました。そこで、SNS上
11 の人間行動心理を分析し、実例を踏まえた講演を行っている福島寛志様を講師にお招きし、
12 函館圏の国際的な認知度を高めるために、現代社会において有効な手段であるSNSとい
13 うツールの発信力を学んだことで世界とつながるのは難しくないと認識していただき、メ
14 ンバー一人ひとりが国際的な視野を持つ意識を醸成できたと考えます。

15 7月例会では、地域住民とともに国際化に対する意識を共有することで函館圏が国際化
16 へと向かう機運が高まることを目的に開催しました。函館圏の国際的な取り組みを把握す
17 るとともに、これからの地域発展を考えるうえでインバウンドによる経済効果を取り込も
18 うと考えるのは必然であり、そのために言葉の障壁を超えて感覚的に他者とつながること
19 ができるノンバーバルコミュニケーションが国際化への重要なカギであるとの思いから、
20 人の感性を刺激することを生業としている、ダンサーの岩渕伸雄様とカメラマンの野村新
21 吾様をお招きし、パネルディスカッションにより、人と人が言語や国境を越えて感性でつ
22 ながり合えることが国際化への一歩であることを地域住民とともに認識できました。その
23 うえで、函館圏の魅力を強みにした戦略を委員会からプレゼンし、海外の方々を取り込み
24 発展していくイメージを共有したことで国際化へと向かう機運を高めることができました。

25 11月例会では、リーダー特別会議の皆様とともに中田英寿氏を講師にお招きし、地域
26 住民を対象にして理想とするビジョン達成に向け努力を重ねる契機とすることを目的に開
27 催しました。

28 最後に、当委員会は一年間を通し絶え間なく活動して参りましたが、皆様のご協力のも
29 と無事に今日まで運営を行うことができました。各例会の構築における委員会メンバーの
30 一体感と、委員会の枠を超えた友人としての協働により得られた達成感や充実感は、今後
31 の活動や人生においてもかけがえのない貴重な経験となり、JC活動を行ううえでの糧を
32 生み出せたと感じております。